

信州大学医学部附属病院に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
薬剤部における臨床研究にご協力をお願いいたします。

**「病院薬剤師のプラアボイド報告による医療経済効果に関する研究」に関する臨床研究を実施しています。**

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	病院薬剤師のプラアボイド報告による医療経済効果に関する研究
所属(診療科等)	薬剤部
研究責任者(職名)	内藤 隆文(教授・薬剤部長)
研究実施期間	2026年5月12日～2029年3月31日
研究の意義、目的	信州大学医学部附属病院(以下、当院)の薬剤師によるプラアボイド報告(薬による有害事象の重篤化を防ぐこと、薬による有害事象を未然に防ぐこと等)により、薬剤師がどの程度の医療費削減に貢献したかを評価する。これにより、今後薬剤師が医薬品適正使用に貢献し、ひいては社会全体に貢献していくための礎とすることを目的とする。
対象となる方	2025年4月1日から2029年3月31日の間に当院薬剤部において報告されたプラアボイド報告
利用する診療記録	プラアボイド報告がなされた患者さんにおける、有害事象発現状況などのカルテ情報等
研究方法	個々のプラアボイド報告に対し、上記の内容を収集、解析し、回避することができた医療費を算出する。これにより、プラアボイド報告による医療経済効果を算出する。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 土屋 広行(副薬剤部長) 電話: 0263-37-3021

**既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査の必要はありません。**

**当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。**

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

**この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。**

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。